2014年1月号 Vol. 38 (2014年1月1日発行)

# せんしゅん

千春会 SENSHUNKAI

ISO9001:2008認証取得 日本医療機能評価(Ver.6)認定病院

http://www.senshunkai.or.jp/

千春会

検 索

発行責任者: 菊地 孝三



## 理念(3つの使命)

- 1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
  - 2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
- 3.事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

#### 基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。2. 医療と介護の相互充実を基本とする。3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。 4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。



## 新年のご挨拶



千春会病院 院長 藤原 仁史

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年も千春会は、医療と介護の連携・協働を 基本とし、さらには医療と介護の「融合」を目 指して、地域へ貢献できる「かかりつけ病院」 を目標に取り組んで参ります。

さて、昨年は年初に向日市にて「サービス付き高齢者向け住宅」をオープンし、同時に24時間対応の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」のサービスを向日市・長岡京市で開始致しました。今後は、高齢者単独世帯、あるいは高齢者のみで暮らされているいわゆる「老々世帯」が増加の一途です。高齢になれば必然的に医療・介護サービスの必要度が高くなります。ただし在宅を支援するためには、外部からの支援のみならず、生活そのものの在り方を今後も考えていく必要があります。我々千春会は医療・介護の提供のみならず生活支援の一端を担うべく、「住まい」や「食事」等についても皆で考えて行きます。

医療に関しましては、昨年 10月に JR 長岡京駅前ビル内のハイパーサーミアクリニックにおいて、小児科救急外来を始めました。近隣小児科の先生方の夕診が終わる時間帯におきましては、軽症のケースでも乙訓から京都市内等遠方へと救急受診されることが多い実態がございました。今回、千春会は京都市内の複数の基幹病院小児科からの人的支援とバックアップ体制をいただくことで、小児科診療を始めることができました。現在は土日祝日を除くウィークディの短時間での診療ですが、乙訓地域のひとつの医療資源としてご活用いただければと願っております。

さらに在宅医療の分野では、以前から取り組 んでおります「在宅療養支援病院(機能強化型)」 としての在宅医療サービスの充実を今後の取り組んでいくべき柱として考えております。訪問看護ステーションとの連携もさることながら、訪問リハビリ、訪問栄養指導、訪問薬剤指導等の多職種連携を念頭に、在宅の方々を支援してまいりたいと考えます。そういった中で、ご希望される方につきましては「在宅での看取り」といったことにも取り組んでおり、まだまだ課題はございますが、今後もご本人さま・ご家族さまと一緒に考えて参りたいと存じます。

また、終末期医療の一端を担うハイパーサーミア(ガンの温熱療法)と腹水濃縮再還流療法(KM-CART)についても徐々に診療数も増加しており、京都のみならず他府県からも多数ご紹介いただいております。

千春会の今後の新規事業の計画については、まず、法人初となります「グループホーム(通所施設併設の複合施設)」の設立を平成26年冬頃に予定しております。また、先だっては、関連法人「社会福祉法人和楽会」による「保育・高齢複合施設」の開設を平成26年秋頃に予定しており、地域の子育てと高齢者の方々の「療養の場」の提供を複合施設という形で提案する、京都では初めての試みとなります。

皆さまのかかりつけ病院である「千春会病院」としましては、近隣の急性期から亜急性期の一般疾患の診療を中心に、在宅復帰・在宅支援を目的としたリハビリの充実、ならびに地域で数少ない透析センターとしての役割を果たし、また、「訪問診療」もこれまでどおり拡充して、より一層、地域へ貢献できるよう努力して参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

# 「保育・高齢複合施設」

今秋 開設!

新規事業で報告

(保育園・地域密着型特養) 長岡京市友岡

〈千春会関連法人〉社会福祉法人 和楽会

千春会の関連法人である「社会福祉法人 和楽会」運営の「保育・高齢複合施設」が今秋 開設の予定となりました。

「保育園」と「特別養護老人ホーム(地域密着型)」を同一施設に備えた複合施設は、現在、設計を完了し、工事施工業者の入札等も粛々と進行しております。建物の竣工は、平成26年の秋頃に予定しており、まずは「特別養護老人ホーム(地域密着型)」と「デイサービス」をオープン。平成27年4月に保育園をオープンする予定です。

同じ施設の中で、子ども達と高齢者の方々が自然に触れ合える全国的にも珍しい施設です。春の工事着工に向け、しっかりと丁寧に準備を進めてまいります。



保育·高齢複合施設 完成予想図(外観)

# 千春会初の 今冬 開設! グループホーム開設決定!

介護複合施設今里(仮称) 長岡京市今里

医療法人社団 千春会

平成 26 年冬を目指し、千春会では初めてとなる グループホーム併設の「介護複合施設 今里(仮称) (長岡京市今里付近)」の開設が決定いたしました。

認知症対応型デイサービス、通常デイサービス、 グループホームを併設した複合施設となっており、 認知症の方々が住み慣れた地域で、安心して暮らし ていただけるよう、万全の準備を進めてまいります。

# 小児科クリニック ニュース

京都第一・第二赤十字病院、社会保険京都病院などの協力を 得て、開設した小児科クリニックも、はや3ヶ月が経ちました。 臨床経験豊富な小児科の先生方に診察を担当していただいて おります。また、木曜日の夜診があることなども、保護者の方々 に喜ばれており、少しずつ周知されて参りました。これからも、 子育て中の皆様の一助となるよう、努めてまいります。

## 子どもの困った! 「こんな時」に…

救急病院に 行くほどでも ないが 夕方の 急な発熱、 腹痛など いつもの 小児科は 診察時間が 終わって しまった!

## 子育で中の皆さまへ



小児科 TEL(075) 958-6310

診療時間

**19:30~21:30** (受付 19:00~21:00)

診察日…月曜~金曜

千春会ハイパーサーミアクリニック

長岡京市総合交流センター バンビオ 1 番館 7階(JR 長岡京駅前)

# 『医療・介護』の長期展望を学ぶ講演会開催

平成25年10月 4日(金) 前厚生労働省老健局長 宮島 俊彦 氏平成25年11月20日(水) 慶應義塾大学大学院 田中 滋 教授

千春会では、今後の「医療・介護」業界の動向を知ることで、さらに「良質な医療・看護・介護の提供」ができるよう、講演会や研修会を通じ、職員一同研鑽を重ねております。

今年度は、医療・介護業界において著名な先生方をお招きして、理事長・院長はじめとする主な責任者約40名が、また、長岡京市を含めた行政関係の方々のご出席もいただき、「これからの日本がたどる医療・介護の方向性について」を主軸に、幅広い視野と詳細なデータを元に長期展望を示されたマクロな視点とミクロな視点でのご講演は、大変有意義なものとなりました。

## 前厚生労働省老健局長 宮島 俊彦氏 講演会 開催 10月4日(金)

前厚生労働省老健局長というご経歴の宮島先生からは「地域包括ケアの展望」をテーマに、保健医療行政そのものを構築し、運営を指揮されてきたお立場から、日本の医療・介護の変遷と現状の問題や課題を踏まえ、今後、千春会が備え、進むべき方向性を含めたご講演をいただきました。

まず、高齢者ケアの変遷では、老人福祉法成立により特養・軽費老人ホームが誕生し、老人健康診査と家庭奉仕員制度が始まり、老人医療無料化が実現したこと。そして、医療への良好なアクセスは確保されたが、はしご受診、病床の老人病院化・社会的入院といった問題の表面化が生じたこと。その後、適正な医療提供体制を整える目的で病床規制が制定され、在宅へ復帰するための中間施設である老人保健施設の創設へとつながり、2000年の介護保険導入となった経緯とともに、時代の中で生じた課題についてもお話いただきました。

今後、人口構成における高齢者の割合が



(左)菊地理事長はじめとする参加の方々



前厚生労働省老健局長 宮島氏

30%を越え、総人口は減少していく 2025 年に向けては、家族形態は変化し、1200 万人以上の高齢者が独居・高齢者のみの世帯で生活するようになります。さらに認知症の方が 470 万人に増加する中、特に都市部の高齢化が著しく進むとの推測がなされることから、これからの変化に対応して行くには、「地域包括ケアシステムへの取り組み」が、必要不可欠とのお話がありました。

最後に千春会に期待するところとして、乙訓地域での「地域包括ケアシステム」の充実と展開、認知症や重度要介護の方の在宅ケアの推進、「在宅医療」における「看護、リハビリ、訪問介護」の包括的な提供と、そのための職員のレベルアップ等を挙げられ、「地域の方々」に「住まい」と「住まい方」をトータルに提供できる法人を目指していただきたいとのお言葉を頂戴いたしました。

# 未来を見据え、地域へ貢献するために

## 慶応義塾大学大学院 田中 滋 教授 講演会 開催 11月20日(水)

今回の講演が5回目となります田中教授には 「地域包括ケアシステムと医療介護連携」をテーマに、ご講演をいただきました。

高齢者人口がピークを迎える 2025 年に向けての課題や具体的な状況、進むべき方向性、今後の展望など、非常に難しい社会情勢を平易にユーモアを交えてご説明いただきました。

今後、高齢者の方々を地域で支えるためには、「地域包括ケアシステム」の構築が大きなカギであり、そのためには、千春会が目指している「医療・看護・介護の連携と融合」に加え、行政の地域マネジメントが関わらねばならないこと。さらに医療サービスにおいては、「在宅」を支えるための「医療」「看護」の連携、さらに看護師が中心となってのセラピストや栄養士、薬剤師など、多職種との連携による「地域看護機能」が重要な役割を担うとのお話がありました。

また、「住まい」の安定は、医療・介護サービスを受けるためには不可欠であり、とりわけ「生活支援」の不足は、在宅での医療・介護の継続困難につながります。「配食サービス」の充実はもとより、例えば食事を共にするだけでなく、コミュニティとしての『会食』の場や、その案内・準備も含めた役割分担の創出が、これからの高齢者の社会性の維持には必要という



熱心に聴き入る法人責任者



講演中の田中 滋 教授

お考えを伺いました。また、地域マネジメントである行政サービスにおいては、地域の現状やニーズを掴む「地域診断」の必要性を強調されました。

「地域包括ケアシステム」には、「地域の方々ご自身が支援の提供者であることや、ご自身がサービスを受ける立場となった場合の心構えも重要であるといった点にも言及されました。

来る高齢者社会に向けての「地域包括ケアシステム」については、植木鉢をモチーフにした進化したイメージ図が示されました。「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」の柱を「生活支援・福祉」が包括し、ニーズとウオンツに応じた「住まいと住まい方」が生活基盤を支える。さらにはケアを含めたコミュニティの在り方や「本人・家族の選択と心構え」まで発展させた最新の図を示していただきました。



千春会グループは「医療・介護・福祉」のみならず、「保育」「予防」「住まい」に至るまで、「生活全般」に関わる事業を発展、継続させることで、みなさまへ貢献できるよう、さらなる努力を重ねてまいります。

## 手を携えて 「介護」に向き合う

## 千春会 家族会

11/27 開催

#### <sup>、長岡京市</sup> 認知症サポーター養成講座

千春会では「介護」に向き合う方々を支え、手を取り合って前向きに「介護」を捉えていただけるよう、 「家族会」の開催や長岡京市が取り組む「サポーター養成講座」などに参画しています。

今後、増加する認知症。まずは認知症を正しく理解することが大切です。そのサポートができる方を養成し、ともに認知症に向き合うために、長岡京市が取り組む「認知症サポーター養成講座」を委託開催し、合わせて「家族会」を同時開催いたしました。

長岡京市から委託の「認知症サポーター養成講座」は、当法人の職員でキャラバンメイトでもある瀧本マネージャーと諏訪田ケアマネージャーをコーディネーターとして開催いたしました。今回は、「認知症サポーター」を希望される36名のご家族さまと法人職員を対象にした「養成講座」で、看護師でもあるデイサービス滝ノ町の瀧本マネージャーから「認知症とは」から始まる講義をさせていただきました。今後、増加する「認知症」について、理解を深めることで、早期発見や早期治療にもつなげていただきたいと考えます。



講演中の瀧本マネージャー

その後、「千春会 家族会」を引き続き開催し、 介護士、ケアマネージャー、訪問看護師などの 法人職員が各テーブルに分かれて、ご家族さま が抱えておられる日頃のさまざまな悩みや日常 の介護について膝を交えて語り合いました。認 知症の方を抱えた日常の出来事などを、出席さ れたご家族の方々がお話して下さることで共感 や共有が生まれます。「少人数でゆっくりと会話 をすることで、前向きになれる」との言葉が聞 けるのは、このような会合ならではの良さです。



職員と語り合う ご家族さま

さらに、今後の家族会についても手を携えて、 一緒に考えることのできた有意義な時間となり ました。

これからも千春会は、長岡京市とともに、さまざまなサポートができるよう、認知症サポーター養成講座や家族会などを開催し、皆さまにご理解いただけるよう努めてまいります。

### キャラバン・メイトとは…

自治体(都道府県または市町村)が主催する「キャラバン・メイト養成研修」の修了者で、「認知症サポーター」を養成する「認知症サポーター」を養成する「認知症サポーター養成講座」の講師です。

## 認知症サポーターとは…

「認知症サポーター養成講座」を受講して認定を受けた、「認知症の方とご家族さまの応援者」です。

平成 17 年に厚生労働省が「認知症を知り地域をつくる 10 カ年」 キャンペーンを開始。このキャンペーンの一環が 「認知症サポーター 100 万人キャラバン」事業です。

この事業では、認知症の方とご家族さまの応援者である「認知症サポーター」を養成することが目指され、平成 26 年までに 400 万人のサポーターを養成するために、全国の自治体(都道府県)が主催者となって講座を開催しています。

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の方や ご家族さまを温かく見守る応援者です。サポーターは自分のできる範囲で無理のないよう活動し、友人や自分の家族に自分が学んだ知識を 伝えたり、認知症になった方やご家族の気持ちを理解することに努めます。

千春会では現在10名が認知症サポーターとして活動しています。

## 長岡第三中学校 向日市立 寺戸中学校

Her Control

今年初めての受け入れとなる寺戸中学校から3名、例年の長岡第三中学校から 12名が病院と介護施設にて職場体験をしました。将来の自分を意識した体験で、 何かを学んでくれたようでした。子ども達の輝く未来につながるよう、これから も協力してまいります。

## ドキバキの職場体験

#### 向日市立 寺戸中学校 •

#### 介護複合施設東向日

(3名)

★とても楽しかったです。 いろいろな話をしてもらい、元気な方が 多いのでびっくりしました。



#### デイサービス友岡

(2名)

#### 千春会病院 看護部 (5名)

#### デイサービス上植野

(2名)

★看護師さんの仕事は技術や知 識だけでなく、患者さんの安心、 安全が大切だと感じました。<br/>

長岡京市立 長岡第三中学校

#### デイケアセンターそよ風 「介護老人保健施設 春風」内

(3名)

- ★患者さん、一人ひとりに接して おられた姿は、カッコ良かった です。
- ★たくさん昔の話をしてもらい、とても 楽しかったです。
- ★施設の中もキレイで明るかったので 驚きました。
- ★毎日、いろいろ面白く、あっという間 に過ぎました。
- ★将来、介護の仕事をしたいので勉強に なりました。
- ★もっとなりたい気持ちが強く なりました。
- ★患者さんの言葉を優しく引き 出しておられた。
- ★「ありがとう」と言われてとて もうれしかった。









## 皆さまのご意見を大切に…

満足度調査を実施いたしました

より良質な

医療・看護の提供を 目指して

## 平成 25 年度 入院患者様満足度調査結果

■非常に満足

10%

■満足

■普通

■少し不満

■不満

●病院全体の満足度について

0%

20%

■満足

30%

40%

50% 60%

80%

100%

90%

■不満

入院患者様の

病院全体に対する満足度は81.1%でした。(満足:「非常に満足」と「満足」の合計数)

■非常に満足

病院全体に対する不満の割合は1.9%でした。

70% 調査期間 平成25年8月1日~9月30日 調査対象 千春会病院 入院患者様

■少し不満

回答数:62名(回答率37.3%) 配布数 166名

#### 平成 25 年度 外来患者様満足度調査結果

●担当医に信頼感がもてましたか

●診察までの待ち時間はいかがでしたか

●当院を他の方に紹介したいですか

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

配布数

■普通

平成25年度実施の外来患者様満足度調査におきましては、多くの患者様から ほとんどの項目におきまして満足度の高い回答を頂戴することができました。

回答いただいたご意見の中には待ち時間が長いというご意見が寄せられていました。 関連部署で分析を行い、改善をしてまいりたいと思います。

0%

調査期間 平成25年4月15日~5月15日 千春会病院 外来患者様

480名 回答数:388名(回答率80.8%)

貴重なご意見・お時間をいただき誠にありがとうございました。 調査結果の詳細につきましては、当法人のホームページをご覧ください。 皆さまから頂戴いたしましたご意見を大切にさせていただき、職員一同さらなる努力を重ねてまいります。

## 「人権の花」咲かせましょう!

・・・・地元のみなさんとともに

## 人権擁護委員の方々と利用者さまが「人権の花」を植えました

介護複合施設 東向日



京都地方法務局では、人権擁護の啓発を目的に、 小学校や施設などに「人権の花」として、栽培用 の花が人権擁護委員の方から届けられています。

平成19年度からは、社会情勢を反映して、高齢者福祉施設での相談活動や花贈呈などの取り組みがなされています。

25 年度は、「介護複合施設 東向日」が対象となり、高齢者の人権擁護を啓発するための花になればと「水仙の球根 60 個」をいただきました。

当日は、人権擁護委員の方々とご利用者さまを 代表した方々が楽しそうに「人権の花」を植えら れました。その後「人権相談」として、ご利用者 さまと同じテーブルでお話しをされ、和やかな交 流の時間となりました。利用者さまも、にこやかにお話をされ、60個の球根から美しい水仙の花が 咲くのを楽しみにしておられました。



水仙の球根を植える人権擁護委員の方々と利用者さま、スタッフ

. . . . . . . . . . . . . . . . . . .

# いつも火災の怖さを忘れないように

乙訓消火技術競技会へ「千春会自衛消防隊」出場!

今年も消火技術を競うこの大会に出場し、火災に対する常の取り組みを披露しました。残念ながら、今年は入賞を逃しましたが「火事は絶対に出さない!」という意識をしっかりと持つためには、 毎日の心がけが必要です。

千春会では、病院はじめ全事業所に基準以上の

スプリンクラーを設置 し、定期的に火災訓練 を行うなど、常に、職 員全員が防災意識を高 められるよう努めてい ます。



炎に挑む法人職員

## 千春会病院は 在宅療養あんしん病院です

在宅療養あんしん病院 登録システムをご存じですか?

#### 在宅療養あんしん病院登録システムとは

- ・京都府在住で、在宅療養中の 65 歳以上 の方のための制度です
- ・早めの対応で在宅生活を支援します
- ・登録用紙での登録が必要です

在宅療養中の高齢者の方が、あらかじめ必要な情報を登録しておくことで、体調を崩すなど、在宅での対応が困難になった時に、スムーズに病院で受診し、必要に応じて入院ができるシステムです。

お問い合わせは

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年は「午年」。千春会も駿馬の如く駆けてまいります。

新しい年を迎え、今年は法人初の「グループホーム」と関連法人の「保育・ 高齢複合施設」が開設予定です。

未来を担う子ども達と「今」を創りあげてきた方々が安心・安定して生活

できるよう、土台をしっかりと踏み固めてまいります。 未来へと疾走する千春会!

駄馬な私も遅れをとらぬよう頑張ります! (ニンジンでもぶらさげねば…) 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(弘)

表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

#### 患者さまの権利と義務

#### 当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります (インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります (セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する 権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

#### また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、 患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

## 千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26 TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615